

滋賀縣人

第
192
号

発行所

一般社団法人 東京滋賀県人会

東京都中央区東日本橋3-6-20-205
電話 03(3661)1180 郵便振替 00180-4-26966
FAX 03(3661)5058

発行日 平成30年8月1日

発行人 静永純一

Contents

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ご挨拶 | 2 |
| ご案内／ご報告 | 3 |
| 県人会の活動 | 4～5 |
| 関東ブロック滋賀県人会意見交換会 | 5 |
| 大使館表敬訪問 | 6 |
| 「ここ滋賀」イベントレポート | 6～7 イベント・フェアご紹介 |
| カメラで巡る滋賀の旅 | 8 |
| 「近江を愛した 松尾芭蕉の句碑を尋ねる旅」 | 10～19 |

幻住庵：大津の義仲寺で生活していた芭蕉の隠棲地です。

石山の奥の国分山にあり、耳を澄ませ見回せば、琵琶湖の眺望など、美しい景色として足りないものは何もない所です。

ご挨拶

一般社団法人 東京滋賀県人会 副会長 内田 真由子



東京滋賀県人会の会員の皆様にはお変わ
りなくお過ごしでしょうか。平素より東京
滋賀県人会の活動にご理解・協力をいただ
き誠にありがとうございます。

さて、滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」
が近江商人ゆかりの地・日本橋にオープン
して、この10月29日で一周年を迎えます。

「ここ滋賀」開設以降、マスメディアでも滋賀が頻繁に取り上げられるよ
うになり、今年の9月25日には日本橋高島屋の新館オープニング2020年
には大河ドラマに滋賀ゆかりの武将・明智光秀「麒麟がくる」が決まるな
ど、これまでにない盛り上がりで、東京について故郷に誇りを強く感じる方
も多いと存じます。

滋賀の知名度上昇もあってか、東京滋賀県人会の間でも、次世代の会員
加入増が目覚ましく、若手役員も増え、平成30年度は新規会員が約100
名となりました。これからは、滋賀県出身者だけではなく、滋賀にゆかり
のある方、滋賀を訪れてみたい方、滋賀と関係を持ちたい方など、県外海
外の方々にも県人会の仲間になって新風を吹き込んでいただき、「滋賀」
をキーワードに人の絆が無限に広がる、刺激的で魅力的な会にしてゆきた
いと思っています。

そして、滋賀県のポテンシャルはまだまだ大きく、ここ滋賀を拠点とし
て観光や移住も含めた首都圏からのアピールが重要とされています。県人
会では市町の応援もしながら、各団体とも連携をとり、一人でも多くの方
に滋賀に訪れてみたいと思って頂けるような活動もして参りたいと思いま
す。東京の地の利を生かして人の輪を広げてゆくことが、滋賀の更なる飛
躍に繋がり、故郷への恩返しとなるようにと願っています。

県人会は利を求める会ではありません。あくまでも親睦団体で、滋賀を
愛し、滋賀の為に汗をかいても良いという真心を持つ人が集まる会です。
開催するイベントには明確な目的を掲げ、三方よしの成果を皆様と分かち
合えるよう、具体的な行動をして参ります。ご入会頂いた皆さまに東京滋
賀県人会の仲間になれて良かったと思って頂けるよう任期中は尽力して
参る所存です。これからも皆様のご協力ご参加をお待ちしています。

尚、東京滋賀県人会主催のイベントにつきましては、次世代を担う人々
に出来る限り参加していただくことを心掛けたいと思っています。最後に、
今まで開催した主な催しをご報告してご挨拶に代えさせて頂きます。

「AKINDO塾」

第一回 JETRO 元副理事長 塚本弘氏「世界の中でビジネスチャン
スを!」

第二回 オブテックスグループ株式会社 代表取締役 小林徹氏「滋賀生
まれ世界育ちのオブテックス」

第三回 滋賀県茶業会議所会頭 岩永峯一氏「近江の茶に対する思い」

第四回 伊藤忠商事 副会長 小林洋一氏「伊藤忠商事の歴史と現状、そ
して、新たな挑戦」

第五回 (株)三菱UFJ フィナンシャル・グループ 元副社長 田中正明氏
「日本のお金の流れを考える」

第六回 元国土交通省河川局長 竹村公太郎氏「地形で解く日本史の謎
—情報発信の滋賀—」

「東京しがくる会」

東京滋賀県人会女性会員による女子力で滋賀を盛り上げる会。第一回は
渋谷・かしわビストロパンパン、第二回は衆議院副議長公邸、第三回は

ここ滋賀・滋乃味にて約30～40名規模の女子会を開催。

「ここ滋賀サロン」

近江の茶を飲みながらのワークショップ、ランチ付きの、滋賀県茶業会
議所との共催イベント。近江の茶の魅力発信と県人会女性部強化を目的

とし、これまで滋乃味にて、11／8、12／7、1／18、3／14と4回開催。

「滋賀の日本酒 33歳呑むまで帰れま1000」

滋賀の地酒に光を当てたイベント。日本酒ラバーズ約60名が集結し、滋
賀の地酒33歳を味わう会を滋乃味にて、平成29年12月23日開催。

「一夜限りの忍者レストラン」

甲賀市から委託を受けてのPRイベント。甲賀忍者を通じて、甲賀の鹿
深米、野菜、地酒などの魅力を発信。約40名が滋乃味に集い、平成30年
2月19日開催。

「在京大使館交流巡り」

5月にフランス、ドイツ、イギリス、6月にペルー、アルゼンチン、メ
キシコ、7月にカナダ、インドネシア、ブラジル。海外に15カ所ある県
人会の拠点を持つ国の大天使館を訪問。

「ビジネス交流パーティ」

滋賀の経営者と、滋賀と関係を持ちたい経営者とのマッチングパーティ。
約40名が紀尾井レジデンスパークルームに集い、you are what you
are様のご協力のもと、近江の食材を使ったお料理や地酒を開き交流を
深めました。平成30年7月7日開催。

平成30年度 定期総会・懇親会のご案内

左記により、平成30年度定期総会
ならびに懇親会を開催いたします。
会員の皆様も総会にご出席くださ
い。郷土料理や地酒を味わいながら、
首都圏のネットワーク作りと滋賀の
話に花を咲かせ楽しい時間を過ごし
ましょう。皆様のご参加を心より
お待ち申し上げます。

日時・平成30年9月14日(金)
定期総会 17時～18時

懇親会 18時30分～20時30分
8階カンファレンスルーム
9階バンケットA
ブルー

会場・日本青年館ホテル
懇親会 18時30分～20時30分
外苑前徒歩5分

東京都新宿区霞ヶ丘町4-11
TEL 03-3401-10101
アクセス・東京メトロ銀座線
会費・8,000円(着席ブッフェ)
申込・東京滋賀県人会事務局
TEL 03-3661-1180

※同封出欠はがきにて
ご返答ください。



ご報告

役員会

平成30年3月27日（火）

滋賀銀行東京支店3階会議室にて開催されました。

訃報

当会副会長（株）日本ロジテム会長 中西英一郎氏
30年3月7日 89歳にて逝去されました。

ご案内

役員会・物故者法要

平成30年8月28日（火）

役員会 12時～14時

滋賀銀行東京支店3階会議室

物故者法要 14時30分～15時30分

東京都中央区東日本橋3-6-20-205

東京滋賀県人会

月例法要の案内

毎月第一木曜日（1月・8月を除く）14時から、滋賀県人会ホールにて行っております。是非お越し下さい。

30年開催日は、

9月6日・10月4日・11月1日・12月6日

善男善女のお申込み

善男善女の縁結び、お写真を承っております。お気軽にお紹介ご利用下さい。

なお、現在多数のお写真等お預かりしています。お気軽にご連絡下さい。

40・50代の出会いも応援しています。

近江ゆかりの会の報告

平成30年2月5日（月）品川プリンスホテルアネックスタワー5階プリンスホールにて開催されました。

主催は滋賀県・東京滋賀県人会、協力は首都圏各県人会・在京同窓会・滋賀銀行東京支店。首都圏で活躍する「滋賀県ゆかりの人」が一堂に会して親睦を深め、ビジネス等に生かせるネットワーク作りの機会となる交流会です。三日月大造知事以下373名の参加で盛会に行われました。



大近江展の報告

平成30年3月7日（水）～3月12日（月）

高島屋日本橋店8階催会場にて第30回琵琶湖夢街道大近江展が開催されました。多くの会員の方々にお越し頂き、有難うございました。



水草除去費、ネットで募る

大津市は、琵琶湖で異常繁殖する外来種の水草や漂着ごみを除去するため、インターネットを活用して寄付を募っています。市は「琵琶湖の自然景観や生態系保全のために力を貸してほしい」と呼び掛けています。

「ふるさと納税」同様の控除が受けられます。使途が明確で返礼品競争が抑制されるため、国も推奨。寄付は、サイト「ふるさとチョイス」のGCPのページから手続きできます。金融機関や市役所を通じてでも行なえます。8月末まで。

問い合わせ 市環境政策課077（528）2760

※同封のご案内書裏面の申込書にてお申込み下さい。

主催 滋賀県

一般社団法人東京滋賀県人会

会費	10,000円
（20・30歳代の方は5,000円）	
内容	受付開始
開会・コンサート	17時30分
びわ湖ホール声楽アンサンブル	18時30分
交流会開始	19時15分

空き家バンク

県人会は、滋賀県下の「空き家」の仲介（無料）をしています。空き家の所有者・管理人から「空き家情報」の申し出を受け、空き家情報を東京はじめ周辺の各県人会の会員に紹介しています。

首都圏における滋賀魅力体験創造に向け、滋賀県ゆかりの人ネットワークの構築を図り、新たなビジネスチャンスの創出、「滋賀・びわ湖ブランド」の発信及びふるさと滋賀のファン作りを目指して行われます。会員各位のご協力とご参加をお願い致します。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

「近江ゆかりの会」開催の ご案内

AKINDO塾

塙本東京滋賀県人会副会長を塾頭に、会員同士の人脈形成、ネットワークの構築、知識の向上の支援を目的として各界から講師をお招きし、講演会を開催しています。

平成30年に入つてからは、第5回、第6回のAKINDO塾を開催しています。

・平成30年3月6日（火）18時30分～19時30分

第5回講演会「日本のお金の流れを考える」

講師・PwC International Senior Global Advisor

田中 正明 氏

【元株】三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役副社長】

滋賀県の近江八幡市に生まれ、膳所高の出身。故郷の家の隣の本田さんから講演を頼まれた。子供の頃から、社会全体の役に立つことをしたい、また、海外に行ってみたいと思っていた。三菱銀行に入つてから、米国の大学院を卒業し、ユニオン銀行を経営するなど海外で経験を積んだ。日本のお金の流れを考えると、巨額の資金が殆どリターンのないまま銀行に眠っている。定期預金の金利は、0.018%、金融機関の収益は、大手金融グループ合計で、2013年度の3兆円から、2017年度は、2.5兆円へと低下傾向。過去20年間で、米国の家計金融資産は3倍以上、日本では、1.5倍。一言で言うと、我が国全体の資金の流れは、国富形成や個人の資産形成に役立っていない。

こうしたアセット・チャーンをインベス

トメント・チャーンに変えて行かなければならぬ。成長が予想される金融業者は、資産運用業者（運用の高度化とストラーダ・シップ活動）、投資ファンド（企業に対するエンゲージメント、リスクマネー供給）、フィンテック企業（金融事業のアンバンドル化と技術を使った低コスト化）。従来型単純商業銀行モデルは、モデルの陳腐化、ユーティリティ化のため、縮小が予想される。最近の大手金融グループにおける3割ぐらいの人員削減は、こうしたトレンドを反映したもの。仮想通貨につ

いては、先般、流出問題が生じたが、これは杜撰な管理のため。プロツクチャーソのものは、しっかりと裏付けがあり、この活用により、従来の資金管理コストを大幅に下げることができるとしている。先般、中国のアリベイを訪問したが、フィンテックの活用により、送金などのコストが安くなっていることに加え、大きなパネルで、全国の資金の流れを瞬時に把握できるシステムになつており、日本より、遙かに進んでいる。日本の金融業界も、既存の顧客基盤を生かした業務改革を行い、インベストメント・チャーンへの積極参加をし、内外のフィンテック企業と連携し、規模に拘らない「質の経営」への転換を進めることにより、国富形成、個人の資産形成に寄与しようと考へる。国全体の財政赤字も大きな問題。いつか、金利が上昇すると、資金負担は膨大なものとなる。また、会社のマネジメントに関しても、元日立会長の川村氏の言わわれるとおり、社外取締役の最大の任務は、社長の首を切ること、これが殆ど実行されていない。モーガン・スタンレーの役員のとき、毎年3人ぐらいの社長候補を厳しくチェックした、その候補も年によつて順番が入れ替わる。こうした仕組みを導入すべきであろう。

・平成30年5月10日（木）18時30分～19時30分

第6回講演会「地形で解く日本史の謎－情報発信の滋賀－」

講師・日本水フオーラム代表理事 竹村 公太郎 氏

【元国土交通省河川局長】

関東育ちなので、大阪に行って、石山本願寺が上町台地にあつたことを初めて知つた。地形を見ると歴史が分かることを知つた。奈良時代のエネルギーと材料は樹木。年間100万本の立ち木が必要だった。このため、奈良盆地の山は禿げ山になつていった。

そうなると、山に保水力がなくなり洪水が多発した。奈良の川は真っ直ぐ。これは、山からの土石流を利用した証拠。洪水の後は、土石流を利用し埋め立てて区画整理が行われた。人々は、土地をシェアしながら豊かになつていつ

た。「和を以て貴しと為す」という聖徳太子の17条の憲法の第1条が生まれた。日本の木材伐採の記録については、ダットマンという学者の研究を見るとよく分かる。

水の確保は都市にとつて不可欠。長岡京への移転も巨椋池という巨大な湖があつたから。京都にはすべての道が繋がっている。道が繋がっていることは、情報が集まること。京都と滋賀の境に逢坂がある。自分は、草津の立命館大学で教えていたため、逢坂のトンネルをよく通つたが、何か寒気を感じた。この逢坂山こそ、日本の東と西の境目。織田信長が天下を統一しようとしたとき、目障りになつたのは比叡山の僧侶軍団。

この山の戦略的位置を信長は意識し、そこを確保したいということで攻め入つた。世間に言われるよう、僧侶が世俗化していたため攻め入つたわけではない。こうしたことを著書に書いたところ、比叡山のお坊さんから会いたいと申し入れがあり、恐る恐るお会いしたところ、400年の汚名を晴らしていただき感謝しますと言われた。

安土城も、なぜあの場所に決めたのかは地形が解く。古文献を見ると、安土城の周りはほとんど水で囲まれていて、自然による防御が完璧であった。

江戸の武藏野台地は河川がない不毛の地。そこを家康が拠点としたのは、目に染み入る森林が展開していたからだ。

日本は、北から南まで、船による縦横無尽なネットワークが確立していた。大分の日田の材木商の人形を見ても、如何に豊かな文化が地方にまで行き渡つたかがよく分かる。欧米は情報を中心から周辺部に発散していく文化で穂浪士の討ち入りも、10日で全国に伝わった。

大津の走り井餅のホームページを見ると、逢坂山に車石があり、当時の最新の技術が使われていたことが分かる。京都は、琵琶湖疏水からの発電によって日本で最初の市電が走つた街。

情報こそ、文化の発展の基本。滋賀は、日本の交流軸の中心にずっと位置していた。特に、新幹線と名神高速道路のおかげで工場立地が急増し、これまで25位だった一人当たり製造業粗付加価値額が第1位になつた。今後も大きく発展していくことを期待したい。

(文責・植野)



関東ブロック滋賀県人会意見交換会

3月21日（水）、関東ブロックの滋賀県人会意見交換会がさいたま市浦和区浦和コミュニティセンターで行われ、栃木、千葉、埼玉、神奈川、東京の会長や役員など10数名が参加されました。

当日は、関東ブロックの滋賀県人会が共同で滋賀県内の高校の卒業生などを県人会への入会働きかけを行う方策について、議論が交わされました。「ここ滋賀」が益々盛況となるために、引き続き関東ブロックの滋賀県人会が支援していくことも申し合わせました。

また、6月9日（土）には、東京滋賀県人会事務所において、千葉、埼玉、神奈川、東京の滋賀県人会から実務レベルの役員も加わり、より具体的な会員増のための対策を話し合いました。



鮎寿し漬け込み体験
毎年、夏
東京開催！

大使館表敬訪問

東京滋賀県人会では、その事業の一環として、東京の地の利を活かし海外に滋賀県人会の拠点を置く国々との交流を図るために在京大使館巡りをしています。

- 近江商人のゆかりの地日本橋に出来た「ここ滋賀」を紹介
- 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けての訪日観光客の受け入れ
- グローバル化、地域の活性化、観光振興等の観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体（ホストタウン）の用意
- 学生インターナンの「湖国寮」入寮のご案内
- 文化、芸術、スポーツ、観光を柱とする交流

などで交流を促進していきたいと、それぞれの大使館で提案して来ました。

●平成30年5月16日 フランス大使館を訪問しました。

ビエール・コリオ文化参事官は同志社大学に留学されていたこともあって、滋賀県の良さを良く理解していました。「琵琶湖一周のサイクリングや、スポーツや観光などで交流をして行きたい」とおっしゃっていました。

●平成30年5月24日 ドイツ大使館を訪問しました。

「ドイツから来る学生のインター・シップを湖国寮で受け入れてもらえるか」との問い合わせがありました。また、「滋賀県にはドイツとの姉妹都市が3つあるのでもっと活発な交流を望む」との要望が寄せられました。

●平成30年5月25日 イギリス大使館を訪問しました。

セーラ・ウテ・ン総領事は、滋賀県に好感をもつていただいておられるよう、何度も訪れられているとのこと。「信楽には有名なイギリスの作家さんも活動されているので、そういった面での文化交流がしていただけることを期待する」と表明されました。

●平成30年6月13日 ベル・大使館を訪問しました。

湖国寮に国際交流推進のため、留学生も受け入れる用意があると伝えたところ、「非常に興味がある」、「是非当方の会報誌、その他で呼びかけを行いたい」とのことでした。

●平成30年6月21日 アルゼンチン大使館を訪問しました。

大使館側から、「ここ滋賀に是非行き、近場でまず滋賀を知りたい。湖国寮にも訪れたい。アルゼンチンからの留学生にも紹介して、そこでの若者の交流にこれから未来が繋がることを期待する」と言われ、「在アルゼンチンの滋賀県人会の人たちのことを知り、新しい関係を築きたい」とも言明されました。

●平成30年6月22日 メキシコ大使館を訪問しました。

「人と人との繋がり、更に交流を深めて行きたい」とのコメントがありました。

●平成30年7月4日 カナダ大使館を訪問しました。

「滋賀に行き自然、歴史、食文化に触れてみたい」とのことでした。こちらからは、カナダのマツタケを毎年美味しくいただいていることを伝えました。また、「日本に来るカナダの留学生に湖国寮を紹介し交流を深めたい」とも言われました。

●平成30年7月5日 インドネシア大使館を訪問しました。

「インドネシアのメナド(Menado)には、トンドナ湖(Tondano)があり、滋賀の姉妹都市に良いのではないか」「インドネシアからの短期留学生も湖国寮に入れていただければ、若い人たちから交流の輪が広がってより良い国際交流が出来るのでは」との提案がありました。

●平成30年7月12日 ブラジル大使館を訪問しました。

まずは、フランス・スコ・カナブラヴァ首席公使から今回の西日本での大雨災害のお見舞いのお言葉をいただきました。

●滋賀の秋の味覚BBQパーティ

近江牛、近江野菜、近江の酒、近江の茶をアウトドアで楽しむ、オシャレで大人のBBQパーティ。ご協力頂いたyou are what you eatさんのモットーは発酵食品など、身体に良いお料理を提供されること。近江の野菜の素材を生かした調理法で見映えするお料理を提供して頂き、竜王町の澤井牧場さんの近江牛のブロックを豪快に焼いたり、パンを目の前で焼いたりして、参加者25名も五感で滋賀食を満喫しました。(平成29年10月9日開催)



EVENT
01



イギリス大使館



インドネシア大使館

●ここ滋賀サロン

日本最古の茶「近江の茶」のファンを増やし、県人会のネットワークを広げる為の茶話会形式のイベント。平成29年11月8日に第一回を滋賀県茶業會議所と共に開催して以降、ここ滋賀の二階レストラン滋乃味で随時行っています。毎回、折々のテーマを設けワークショップを開く他、お茶や地酒、美味しいランチも楽しめます。作家ものの茶器を愛でたり、焙烙を使って自分好みの焙じ茶を作ったりもします。出身地、性別問わず、誰でもご参加頂けます。



●東京しが～る会

しが+ガール、しが～る。東京滋賀県人会女性会員たち約30名がオープンしたてのここ滋賀のレストラン・滋乃味に集まり、女子会を開催しました。第一回は渋谷・かしわビストロパンパン、第二回は衆議院副議長公邸訪問、この回で三回目。いつの時代も流行を作るのは女性から。女性のネットワークで、女性の豊かな感性を生かし、女性の自由な考え方で様々な女子会イベントを開催します。「女子力」で滋賀を、県人会を盛り上げてゆきます。(平成29年11月11日開催)



●滋賀の日本酒33蔵呑むまで帰れま 1000

滋賀の地酒に光を当てたイベント。約60名の日本酒ラバーズが集結し、マイ盃持参で、滋賀の地酒33蔵を味わいながら交流を深める会を滋乃味にて開催しました。お土産には鮒ずしチップスを用意。滋賀県内の33蔵の地酒を味わえるのはここ滋賀だけ。滋賀が日本有数の酒どころであることを、あらためて実感出来たイベントでした。(平成29年12月23日開催)



●ビジネス交流パーティ

滋賀の経営者と、滋賀と関係を持ちたい首都圏の経営者とのマッチングパーティ。約40名が滋賀ゆかりの地・紀尾井町の紀尾井レジデンスパーティルームに集まり、you are what you eatさんのご協力を得て、近江の食材をふんだんに使った料理と地酒を飲み交流を深めました。乾杯はキリンビールの「滋賀づくり」にて。竜王町の澤井牧場さんの近江牛、JA甲賀の近江野菜、近江の茶、ここ滋賀で購入した近江の地酒、そして美味しい甲賀の鹿深米を楽しみながら会話を弾み大いに盛り上りました。(平成30年7月7日開催)

●一夜限りの甲賀流忍者レストラン

海外や子供達に絶大な人気を誇る「忍者」。甲賀市から委託を受け開催した甲賀市のPRイベント。観光資源としてもポテンシャルが高い忍者の里の魅力を、ここ滋賀を舞台に首都圏から発信。参加者の中にはコスチュームも着用して頂き「甲賀忍者」を体感して頂きながら、甲賀市の美味しい鹿深米、野菜、地酒などの食文化の魅力も楽しんで頂きました。今後の海外発信も視野に入れて、チェコ人のタレント、スザンカさんに司会進行をして頂き、上級忍者の上原秋経さんによるマジック「忍術」で大変盛り上がりました。県内最多9つの蔵元を有する甲賀市ならではの地酒の飲み比べも行いました。(平成30年2月18日開催)



「ここ滋賀」イベント・フェアのご紹介

<「ここ滋賀」開設1周年キャンペーン・イベント>

滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」では、10月29日に開設1周年を迎えるにあたり、記念キャンペーン・イベントを開催致します。皆様、この機会に是非「ここ滋賀」に足をお運び頂き、滋賀を“体感”して頂くようお願い致します。

1) 1周年キャンペーン

期間：平成30年10月29日(土)～11月4日(日)
場所：ここ滋賀（1階・2階・屋上テラス）

2) 1周年イベント

日時：平成30年11月3日(土)・4日(日)
場所：東京日本橋タワー公開空地（イベントスペース）
内容(予定)：トークイベントやワークショップ
食をテーマとしたマルシェ等

夏のここ滋賀イチオシ商品Pickup

東京の暑い夏を飲んで、食べて、扇いで涼しく乗り切る滋賀の商品をピックアップ。ぜひ「ここ滋賀」でお求めください。



①淡海ビ尔斯ナー
長浜のクラフトビールメーカー定番アイテム。
麦芽感とホップのフローラルな香りが極まった味わい。
税込：550円



②伊吹久次郎そば
日本蕎麦の発祥とされる伊吹山の麓で栽培された蕎麦「伊吹在来そば」の玄ソバを使用して粉を挽き製麺したお蕎麦です。
税込：993円



③定規扇子
滋賀県甲賀市の定規職人が生産している竹定規と、岡根製作所の竹定規を組み合わせた扇子です。
税込：4,536円

「日本橋 滋乃味」滋賀の恵みパーティープラン

ここ滋賀の2Fにあるレストラン「日本橋 滋乃味」では、滋賀の食材をふんだんに使用しひと手間を加えたお料理と、美味しい地酒をぜひお楽しみくださいませ。

お飲み物

+2時間飲み放題 1500円
ビール・ワイン・ウイスキー・焼酎・ソフトドリンク
+2時間飲み放題 2000円
選択の追加1種
ビール・ワイン・ウイスキー・焼酎・ソフトドリンク
※ラストオーダーは1時間45分とさせていただきます

滋賀の恵みパーティープラン

8/31
(金)まで

3500円
コース

5000円
コース

6500円
コース

滋賀の恵みパーティープラン	
滋賀の飲食3種	滋賀の飲食3種
・近江の生牡蠣と水芭芋の玉子焼き ・和牛しゃぶしゃぶ 安山鶏添え ・近江の牛ヒレカツ 実山鶏添え	・近江の生牡蠣と水芭芋の玉子焼き ・和牛しゃぶしゃぶ 実山鶏添え ・近江の牛ヒレカツ 実山鶏添え
滋賀のサラダ ・近江の野菜サラダ ・有花園リザーブ ・近江の野菜サラダ	滋賀のサラダ ・近江の野菜サラダ ・有花園リザーブ ・近江の野菜サラダ

ここ滋賀イチオシFOOD

8月のテーマは近江地鶏「かしわ」。ミシュランビブグルマン掲載店の姉妹店かしわビストロパンパンのオーナー、東京滋賀県人会理事の高城直弥氏が監修されます。

かしわを使ったスタミナ料理を食べながら、滋賀の夏を感じるイベントと一緒に楽しめませんか。

開催日：8/25(土) 18:00～(受付：17:30)

申込先：03-3661-1180（県人会事務局）

定員：予定30名様／参加費：5,000円



イチオシFood

(毎月最終土曜日の一日限りのスペシャルディナー)
県内料理人等のメニュー監修による特別メニューの提供や、料理人と参加者との交流を通じて、魅力発信を行います。

月	イチオシFood	
	今後のテーマ（予定）	食材等
8月	近江のかしわ（地鶏） 堺能祭	かしわ（鶏肉）
9月	新米を堪能する近江食材料理	近江野菜の漬物、新米
10月	ここ滋賀1周年！近江牛祝宴	近江牛

「ここ滋賀」では、この他にも楽しいイベントを随時開催中です。開催日やその他のイベント情報は、「ここ滋賀」のホームページをご覧ください。

売り手よし、買い手よし、世間よし。
いまの滋賀を、知ろう、学ぼう、そして繋がろう。

いま滋賀.JP でアクセス！

一般社団法人東京滋賀県人会がたちあげたホームページです。

<https://imashiga.jp/>

いま滋賀

検索



榮米おかき
焼塩マヨネーズ味 100g入り 350円(税別)
青のり七味味 100g入り 350円(税別)

榮農場
滋賀県栗東市蜂屋 720-2
TEL 077-552-0353
<http://sakaefarm.jp/>

『のぞまれるもの
のぞむかたに…』
近江のこだわり栽培『榮米』

『滋賀羽二重100%使用の
おもちも承っております！』

榮
米

京都西川

寝ながらできる健康管理

ローズテクニー®

電位・温熱組合せ家庭用医療機器



ローズテクニー



www.kyoto-nishikawa.co.jp

びわ湖ホール声楽アンサンブル
第67回定期公演

唄い継ぎたい日本うた

20th Anniversary
BIWAKO HALL

指揮：大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）

ピアノ：植松さやか

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

2018年

10月27日土

14:00開演（13:30開場 15:45終演予定）滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

■料金 一般 3,000円 青少年（25歳未満）1,500円【全席指定・税込】チケット発売中

第68回定期公演

バロック声楽作品の精華

色褪せない不滅のバロック声楽曲を本山秀穂の指揮でお贈ります。

2019年2月9日（土）14:00開演【びわ湖ホール小ホール】

一般 3,000円 青少年（25歳未満）1,500円【全席指定・税込】

チケット発売…10月27日（土）

第67回・第68回
定期セット券

（一般のみ）

5,000円

東京公演vol.10

本山秀穂とともに作りあげる「バロック声楽作品の精華」を東京でも演奏します！ 第68回定期公演と同内容です

2019年2月11日（月・祝）14:00開演【東京文化会館 小ホール】

一般 4,000円 青少年（25歳未満）2,500円【全席指定・税込】

チケット発売…10月27日（土）

■チケット取り扱い びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136 (10:00~19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日)
お問い合わせ

カメラで巡る滋賀の旅

「近江を愛した 松尾芭蕉の句碑を尋ねる旅」

森岡 進一（近江八幡市出身）

NHK俳句や、超辛口の夏井いつき先生の人気バラエティー番組「プレバト才能ランキンギ」等、俳句ブームで俳句人口は500万～1000万人とも云われます。「The summer grasses Of brave soldiers' dreams The aftermath」この句は米国人で2012年に日本に帰化された日本文学研究者キーン・ピナルド氏が翻訳された松尾芭蕉（以下は芭蕉）の俳句ですが、元の俳句が何か判りますか？（解答は文中で）

芭蕉が生涯で詠んだ句は、九八〇余句、近江で詠んだ句は106句と云われ、江戸に次いで多く、また「蕉門三十六歌仙」に近江の門人十二人の名があり、江戸五人・尾張四人・美濃四人・故郷伊賀上野三人で、芭門に占める近江の比重の大きさが伺えます。「行く春を 近江の人と 憐しみける」の句は司馬遼太郎さんを甚く刺激して、芭蕉に劣らぬ近江のファンにしてしまいました。「旅に病で 夢は枯野を かけ廻る」と、芭蕉は近江の大津「義仲寺」に眠っています。

滋賀県は、四方を山に囲まれ、その山々の谷間にから流れ出した水が、真ん中に大きな琵琶湖を作り出した「水の国」です。私は、そんな滋賀の魅力を探しに今迄何度も滋賀を訪れました。その時々に様々な所で芭蕉の句碑を見かけました。そこで今回の主人公を、近江の人達と風景をこよなく愛した芭蕉としました。滋賀県は、京都の様な観光地ではないけれど、素敵な自然や文化、歴史のディープなものを探すには最適です。

俳句は、5・7・5の「韻律」（律動感や音の響き合い等、聴覚上の美観をもたらすとする、規則の総体）で詠まる定型詩で、基本は「季語」を入れ、必ず一ヶ所「切れ」を入れ、「余韻」を残します。それでは、芭蕉が、近江で詠んだ句や、近江ゆかりの句を中心に滋賀の芭蕉の句碑を訪ねる旅を始めましょう。

松尾芭蕉とは

芭蕉は、現在「俳句」として親しまれる「俳諧」を芸術的な文芸として完成させた江戸時代の俳人です。「俳諧」は「俳諧連歌」の略語で、何人かの人が集まって句を連ねていく文芸で、近世に大流行しました。現在の「俳句」は、明治時代以降、正岡子規らが「俳諧」の中で一番初めに詠まれる句（「発句」と言います）を独立した文芸として呼ぶようになったもので。芭蕉は、若い頃に仕えた武士の藤堂良忠の影響で、「俳諧」の世界に入りました。芸術性の高い作品を作り続け、後に「蕉風」と呼ばれるようになる独自の作風を生み出し、「俳聖」として世界にも知られる存在になりました。1735（享保20）年の「水鶏塚」という本に、芭蕉の顔立ちについて「そのまま面長に背高からずひくからず、頬そばだつて眉毛ながく眼中すこやかに、鼻は鈍骨の双柱、耳厚く薄唇にして瘦せかれたる形容とや」と書かれています。

芭蕉の足跡

① 1644（寛永21）年・伊賀国上野赤坂（三重県伊賀市）に生まれ、幼名を金作と云います。

② 1662（寛文2）年・藤堂藩伊賀付5千石の侍大将藤堂新七郎良精の嫡男良忠（蟬吟）に仕え、忠右衛門宗房と名乗り、蟬吟と併に、当代随一の古典学者でもあつた貞門派の北村季吟（近江野洲郡北村の医者の家の生まれ）に師事し俳諧を習います。藤堂新七郎家は、近江犬上郡藤堂村出身の武将・藤堂高虎の従兄弟・良勝を初代とし、良勝は幼少から高虎に随身し、高虎の関わった数々の戦に従軍し功名を挙げましたが、謙虚な人柄であつたらしく高虎を望まず高虎が最も信頼した家臣です。

③ 1666（寛文6）年・仕えていた藤堂良忠（蟬吟）が25歳で早世し、仕官の望みを絶たれた芭蕉の数年の動向は不明ですが、京に出向き、北村季吟に師事し俳諧と共に古典も習つた様子です。



石山駅の芭蕉像



芭蕉旅姿

④ 1672 (寛文12) 年・伊賀の俳人らの句に宗房の判詞（面白おかしく優劣を批評する）を加えた三十番發句合「貝おほひ」を伊賀上野の天満宮に奉納。これを機に季吟門下生のト宅（藤堂藩伊勢久居城主藤堂高通に仕えた人）が同行し江戸に下りました。江戸に出た宗房は、日本橋小田原町（現在は日本橋三越本店がある一帯）にある幕府御用達魚屋鰯屋の杉山杉風のもとに草鞋を脱ぎ、やがて日本橋小田原町にある名主の小沢卜尺所有の借家に移りました。日本橋周辺の地は、近江商人や伊勢商人等が活躍する江戸の経済の中心であると同時に、江戸俳諧の中心地でもありました。「貝おほひ」を出版する費用を藤堂良精が、後押しを杉山杉風や小沢卜尺が行い出版することが出来ました。江戸日本橋で芭蕉を迎えた人は、殆んどが藤堂家に繋がりがあり、季吟門下が多くいたようです。



関口芭蕉庵（文京区）



芭蕉福荷神社（江東区）



深川芭蕉記念館（江東区）



芭蕉遺愛の石の蛙

詠まれた蛙の種類はツチガエルかトウキョウダルマカエルと云われます。

「古池や…」句碑

⑤ 1674 (延宝2) 年・季吟から俳諧秘伝書『埋木』の伝授を受けます（芭蕉の東下を『埋木』伝授後と云う説もあります）
【芭蕉最初の近江ゆかりの句、近江特産の萌黄色に西縁の近江蚊帳が登場します】

近江蚊帳 汗やさご波 夜の床
草の戸も 住替る代ぞ ひなの家

3月27日、芭門曾良を伴い、行程六百里、約160日間に亘る、武藏・下野・陸奥・出羽・越後・越中・加賀・越前等を巡り、8月21日美濃大垣迄の「おくのほそ道」の旅。

8月下旬に江戸に帰郷します。

⑥ 1677～80 (延宝5～8) 年・江戸関口芭蕉庵に入り、江戸小石川の水道工事（神田上水）に4年間関係していました。77年春から78年頃に宗匠立机（句会の宗匠の立場で初めて机の前に坐ること）、立机披露の万句興行を催します。

⑦ 1680 (延宝8) 年・杉山杉風の尽力により、江戸深川芭蕉庵（一時、泊船場とも）に移ります。
⑧ 1681 (延宝9) 年・春、江戸芭門の李下から芭蕉の株を贈られ、これが庵号・俳号の由来となります。

⑨ 1682 (天和2) 年・12月28日の大火（八百屋お七の火事）で江戸深川芭蕉庵も類焼しました。江戸を離れ、甲斐国谷村の芭門高山樂勝を頼り、半年ほど滞在しました。

⑩ 1683 (天和3) 年・冬、門人らの寄付金で再建された第二次深川芭蕉庵に入ります。

⑪ 1684 (貞享元) 年・8月、大和国出身の江戸芭門千里を伴い、帰郷を一つの目的とし、東海道を上り伊勢参宮を経て伊賀上野→大和→吉野→山城→美濃→大垣への約8ヶ月の『野ざらし紀行（甲子吟行）』の旅。

⑫ 1686 (貞享3) 年・春、次の最も有名な句を巻頭に、衆議判「蛙合」興行します。

伊賀上野で越年後、翌年4月に帰庵します。藤堂藩には、藩を出て生活する者は5年以内に一度帰郷すると云う規則がありました。

⑬ 1687 (貞享4) 年・8月、江戸芭門曾良と芭蕉庵隣人の禪僧宗波を伴い『鹿島紀行（鹿島詣）』の旅。10月25日、江戸を発ち鳴海→豊橋→渥美半島から伊良湖崎→熱田神宮→伊賀上野（越年）の『爰の小文』の旅。

古池や 蛙飛こむ 水のおど
・句碑・大津市馬場1-5-12 義仲寺内

⑭ 1688 (貞享5) 年・『爰の小文』の旅は続き、伊勢から3月19日、尾張名古屋芭門杜國（万菊丸）を伴い吉野の花見→高野山→和歌浦→奈良→大坂→須磨→明石と巡ります。8月11日、尾張名古屋芭門越人を伴い、20日間の木曽路『更科紀行』の旅。

【江戸の錢別句会で】
旅人と 我名よばれん 初しぐれ
見送る美濃の門人達へ】

⑮ 1689 (元禄2) 年・2月末、第二次深川芭蕉庵を人に譲り杉風の別邸に移る。
草の戸も 住替る代ぞ ひなの家

【奥の細道の途中、平泉にて】（英文の句）

夏草や 兵どもが 夢の跡

- ・句意・夏草の生しげるこの地は兵士たちが功名を夢見て戦つた跡。その面影を感じて涙するばかりだ。
- ・句碑・長浜市余呉町大岩山 余呉湖東湖畔

【立石寺・最上川・越後路鉢崎では、有名な次の3句】

閑さや 岩にしみ入 蟬の声

五月雨を あつめて早し 最上川

荒海や 佐渡によこたふ 天河

9月6日、船で伊勢神宮式年遷宮へ旅立つ。近江の膳所で越年し、その後2年程上方に滞在します。

⑯ 1691(元禄4)年 10月29日 江戸に戻り、翌年

5月中旬に新築の第三次深川芭蕉庵に入ります。芭蕉庵

があつた辺りには「芭蕉遺愛の石の蛙」が出土した芭蕉

稲荷神社があり、付近には芭蕉記念館と、芭蕉像が隅田

川と小名木川を見つめる芭蕉庵史跡展望庭園（タイトル

バックの写真）があります。芭蕉は「旅の詩人」と呼ば

れ、生涯を旅の中にいたと思われがちですが、紀行文を

残した旅は、これら約5回です。

⑰ 1694(元禄7)年 前年3月下旬、芭蕉庵で甥の

桃印が病没。6月2日、芭蕉庵で芭蕉の姻戚にあたる女性の寿貞が没。亡くなる前の5月11日、寿貞の子と伝えられる次郎兵衛を伴つて上方（京・伊賀上野・奈良・大坂）へ、9月10日、大坂芭門之道宅で発病しました。（以降の足跡は、近江を愛する芭蕉の足跡⑦を参照）



芭蕉翁之像



芭蕉翁之像



幻住庵に至る遊歩道



山路きて…



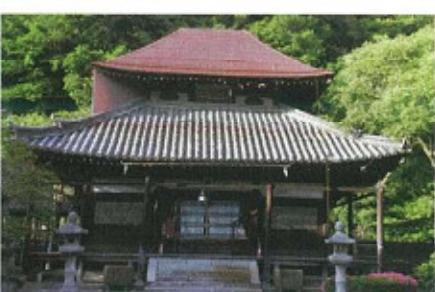
唐崎神社



命二つの…



辛崎の…



大岡寺

近江を愛する芭蕉の足跡

【伊賀上野芭門服部土芳によく出逢うことが叶った】

命二つの 中に生たる 桜哉

- ・句意・再会した私達二人の間で、同じ時間を生きた桜が見事に花を咲かせていくことだ。
- ・句碑・甲賀市水口町京町1-30 大岡寺内

【野ざらし紀行で詠まれた近江の5句】

山路来て 何やらゆかし すみれ草

・句意・京から大津の小関越えの時、ふと見るとスミレ草が咲いているのが、何となく趣き深く心が惹かれる。

・句碑・大津市国分2-1-5 幻住庵遊歩道の句灯柱

他に、湖南市のほほえみの水辺公園にあります。

【石部宿の茶屋で詠んだ句】

つ、じいけて 其蔭に千鰯 さく女

- ・句意・躊躇を生けて、その花の蔭で宿の女は、客の膳の用意であろうか白い千鰯を裂いている。

・句碑・湖南市石部西 真明寺内1-5-23

菜畠に 花見がほなる 雀哉

- ・句意・雀が菜の花畠の間を、いかにも花見をしているといつた顔で飛び回っている。

・句碑・湖南市岩根3791 岩根小学校前土手

- ・句意・雀が菜の花畠の間を、いかにも花見をしているといつた顔で飛び回っている。
- ・句碑・湖南市岩根3791 岩根小学校前土手
- ・近江のみたらし団子・この地は「みたらし団子発祥の地」と云われ唐崎神社前の寺田物産は、注文してから焼いてくれ焼き立てが絶品です。

六年建碑されました。

② 1688 (貞享5) 年・「笈の小文」の旅を終え4月に京に入り大津に来ます。5月大津より岐阜に赴き、また大津に戻り、5月中旬～6月5日迄、大津に滞在します。



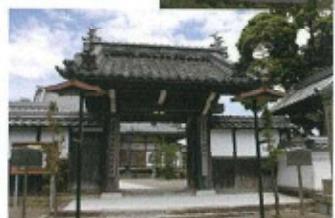
菜島に…



岩根小学校前の句碑



さみだれに…



常明寺



関口芭蕉庵のさみだれ塚



五月雨に…



瀬田唐橋



原八幡神社



ひるがほに…

【大津滞在中に詠まれた句】

さみだれに 鳩のうき巣を見にゆかむ

- 句意・五月雨が降り続く、鳩の浮巢はどんな様子か、琵琶湖に見に行きたいたものだ。
- 句碑・甲賀市土山町南土山531 常明寺内
- 他に、近江八幡市の願成就寺にあります。

・土山茶・栽培面積と生産量、併に県内最大を誇ります。

- 土山は、東海道の宿場町として栄え、当時「あけぼの茶」として広く知られていました。現在は、高品質な「かぶせ茶」の産地として知られています。広大な茶畑が広がる、土山町頓宮パーキング茶畠が常明寺の近くにあります。

【大津奇香亭で巻かれた歌仙の句】

海ははれて ひえふりのこす 五月哉

- 句意・湖は晴れても、比叡の峰の辺りはまだ降り続いているらしく、雨雲に覆われている。
- 句碑・大津市下坂本6-2 新唐崎公園内

【大津奇香亭で巻かれた歌仙の句】

五月哉

- 句意・湖は晴れても、比叡の峰の辺りはまだ降り続いているらしく、雨雲に覆われている。
- 句碑・大津市下坂本6-2 新唐崎公園内

此ほたる 田ごとの月に くらべみん

- 句意・この漬田の豈の素晴らしさを、信濃の姥捨山の田毎の月と比べてみよう。

- 【江戸へ帰る途中、美濃路で彦根芭門李由に立ち寄らずに帰ることを詫びる句】

ひるがほに 眠せうもの 床の山

- 句意・床の山にちなみ、出来ればお宅に立ち寄り、昼顔を賞しつつ昼寝したいものだが。

- 句碑・彦根市原町360 原八幡神社内

- 日本一太鼓・直径2.06m、胴回り6.24m、重量4tの、世界最大の和太鼓が奉納されています。

【奥の細道の旅中、大垣の斜嶺亭における吟】

そのまゝよ 月もたのまじ 息吹やま

- 句意・伊吹山はそのままいいのだ。月の風情を頼む必要もない。

- 句碑・米原市朝日1342 大原觀音寺内

- 大原觀音寺・石田三成と羽柴秀吉の出会いの地とされ、寺の小僧だった三成が、鷹狩で立寄った秀吉に三椀の才で茶を献じて見出された「三献の茶」の逸話が残されています。また本堂、鐘楼、惣門が重要文化財で、石田三成水汲みの井戸が残ります。

何に此 师走の市に ゆくからす

・句意・私と同様に、用もないはずの鳥が、何で人で混み合う師走の市に向かつて飛んで行くのか。

薦を着て 誰人います 花のはる

・句意・華やかな新春、どなたが薦をまとつた乞食の姿でいらっしゃるのか。

④1690(元禄3)年・3月中旬、伊賀上野から大津

に入り、義仲寺無名庵に滞在します。4月6日から7月23日迄、膳所蕉門・曲翠提供の「幻住庵」に滞在し「石山の奥、岩間の後ろに山有り、国分山といふ」に始まる「幻住庵の記」を著します。9月末、伊賀上野に帰るまで義仲寺無名庵に滞在します。また12月、京の落柿舎から近江へ来て乙州の新宅で越年します。



大原觀音寺本堂

そのままよ…



石山寺 硅灰石
国宝・多宝塔



石山の…



あられせば…



南郷水産センター

【奥の細道の旅中、加賀山中の那谷寺で灰白色の奇岩を見て吟】

石山の 石にたばしる あられ哉

・句意・石山寺の白い石の上に、霰が激しく当たつて四方に飛び散っている。

・句碑・大津市石山寺1-1 門前の駐車場

・句意・石山寺の白い石の上に、霰が激しく当たつて四方飛び散っている。

・句碑・大津市石山寺1-1 門前の駐車場

・句意・石山寺の白い石の上に、霰が激しく当たつて四方飛び散っている。

・句意・石山寺の白い石の上に、霰が激しく当たつて四方飛び散っている。

・句碑・大津市石山寺1-1 門前の駐車場

・句意・石山寺の白い石の上に、霰が激しく当たつて四方飛び散っている。

・句碑・大津市坂本5-13 西教寺内

【伊勢神宮遷宮式参拝の折、伊勢山田の俳人又玄宅に宿泊し、明智光秀が困窮した時、自分の髪を切つて売り、夫を助けた妻熙子を讃え、又玄の妻を賞し与えた句】

月さびよ 明智が妻の 吐せん (はな)

・句意・月よ、余り明るく照らすな、もっと寂びた味わいで照らしてくれ。けなげな明智の妻の話しごとをよう。

・句碑・大津市黒津4-4-1 南郷水産センター前庭



天神川



獺の…

【義仲寺無明庵が、以後、近江滞在中の芭蕉の拠点となり、次の3句では、大津の門人達との親しい様子が窺えます】

少将の あまの咄や 志賀の雪

・句意・大津の智月尼を、雪降り積もった志賀の里に訪ねた所、昔ここに隠棲した少将の尼の咄をしてくれた。次3句では、大津の門人達との親しい様子が窺えます】

あられせば 網代の水魚を 煮て出さん (はな)

・句意・霰が降つてきたら、近江名物の水魚を煮てご馳走しよう。

・句碑・大津市黒津4-4-1 南郷水産センター前庭

・句意・水魚は鮎の稚魚の事で田上の特産とされ、網代は川の流れを横切つて杭を並べその間に竹や木を編んで魚を獲るものです。此の辺りの田上網代は特に有名でした。

【伊賀まで訪ねてきた人への餞別句】

獺の 祭見て来よ 獺田のおく (かへう)

・句意・瀬田川の下流辺りでは、獺の祭りをしているので、是非見ていかれるがよい。

・句碑・大津市田上町枝 天神川橋脇 (天神川は大戸川と合流し瀬田川になります。かつてこの辺りに見られた獺は、獲った魚を岸に並べて先祖の祭りをすると云われていました)

【膳所の洒落堂からの眺望を褒めている句】

四方より 花吹入て にほの波

・句意・四方から花びらが吹き入れて いる琵琶湖は、波も花に染まつて見事だ。

・句碑・大津市の御殿浜、高島市の白髭神社、長浜市の塩津神社と良暉寺、栗東市のコミュニティー1号線道路にあります。

「かるみ」の理解に欠かせない一句と云われる句・不斷に変化を続けた芭蕉が、最後に提唱した俳諧の理想形が「かるみ」(深い詩味を保持したまま日常的な題材を平易に表現すること)です

木のもとに 汁も膾も 桜かな

・句意・花盛りの木の下、並べられた汁や膾に、桜が一杯散つて いる。

・句碑・湖南市三雲11 園養寺内

他に、大津市の戒歎庵にあります

【近江の門人達と唐崎の湖上に舟を浮かべた折の句です。近江には医者・商人・僧・武士等、多才な門人がいて、筆・紙・蠟燭等を提供し日常の世話をしてくれています。芭蕉にとつては、居心地の良い場所でした】

行春を 近江の人と おしみける

・句意・琵琶湖での一日、近江の人々と一緒に、近江を愛した古の人々と心を通わせながら、心行くまで春を惜しむことだ。

・句碑・大津市馬場1-5-12 義仲寺内

他に、栗東市のコミュニティー1号線道路、甲賀市の息障寺、長浜市の醉区会館にあります。

・句碑は、芭蕉の真筆を拡大したもので希少です。

近江に来ないと理解出来ない句と云われています。なぜ近江の芭門達なのか。柿本人麻呂や西行法師等の近江を詠んだ先人達も含まれ、その人達と共に惜しむ句なのです。



義仲寺廟堂



行春を…



木のもとに…



石山寺本堂 源氏の間



幻住庵跡の碑



先たのむ…



幻住庵の記の碑



幻住庵

【幻住庵から瀬田に泊り、早朝石山寺に参拝し、紫式部が源氏物語を執筆したと云われる「源氏の間」を見ての句】

曙は まだむらさきに ほど、ぎす

・句意・夜明けの空はまだ明けきらず、紫がかつていて、ほととぎすが鳴いて行くよ。

・句碑・大津市石山寺1-1-1 石山寺内

【この句は、幻住庵からの眺望やここで生活を記しつつ、人生を振り返り、現在の心境をも綴った最高俳文として称される「幻住庵の記」の最後を飾る句で、その心境を表したもの】

先たのむ 椎の木も有 夏木立

・句意・幻住庵の傍らの夏木立のなか、椎の木が何よりも頼もしく感じられる。

・句碑・大津市国分2-1-5 幻住庵、近津尾神社前

・幻住庵記の碑・全文が巻物を展開した形で91行に亘つて刻まれ、横長の自然石にはめ込まれています。

・史跡幻住庵跡の碑

【この句も「かるみ」と云われます。金沢蕉門の秋之坊が幻住庵を訪ねた折の吟】

わが宿は 蚊のちいさきを 駆走也

・句意・何のもてなしも出来ない我が家では、蚊の小さいことがせめてものもてなしだ。

【芭蕉が好んだ語「無常迅速」（人の世の移り変わりが極めて速いこと）の前書があります】

頃て死ぬ けしきは見えず 蟬の声

・句意・間もなく死んでしまうのに、そんな様子は少しも見えず、蟬は鳴きたてている。

【堅田に行つた折、夜の寒さに風邪をひき寝込んでしまい、9月13～25日迄滞在し、門人昌房宛の書簡に「拙者散々風引候而、蟹のとま屋に旅宿を併せて」とあります】

病雁の 夜さむに落て 旅ね哉

・句意・近江八景の一つ堅田の落雁を想い、列から離れた病気らしい雁が、どこかに降りたらしい。病身の私もここで同じく旅宿することだ。

・句碑・大津市本堅田1-22 本福寺内（本福寺は、堅田蕉門千那が住職をしていた寺です）

【堅田祥瑞寺にて】

朝茶のむ 僧静也 菊の花

・句意・庭の菊の花を前に、僧が静かに朝茶を飲んでいる。（いかにも静謐な禅寺の光景だ）

・句碑・大津市本堅田1-277 祥瑞寺内（一休が足掛け13年に渡り修養し悟りを開き、一休の道号を与えられた禪僧一休誕生の寺です）

かくれけり 駆走の海の かいづぶり

【同じ時、堅田にて】

海士の屋は 小海老にまじる いどど哉

・句意・師走の琵琶湖上に浮かんでいたカイツブリが、突然水に潜って隠れてしまった。

・句碑・草津市矢橋 矢橋帰帆島
（この句碑は、芭蕉270年忌の記念碑として、書は、谷口知事が揮毫し、左に浮御堂、右後方に三上山が見える絶景の場所に建っています）

【近江の門人達が、無明庵を建て直している為、新築になつた乙州宅で年越しをすることになり2句】

人に家を かはせて我は 年忘

・句意・人に家を買わせて、その新宅で私は年忘れとう次第だ。招いてくれたことに對し、深い親愛の情に身を任せている。

比良みかみ 雪指シわたせ 鶯の橋

・句意・湖上の鶯よ。かささぎの橋の様に、翼を並べて、比良山と三上山の間に雪のように白い橋を架けてくれ。

・句碑・大津市本堅田1-16-18 浮御堂（満月寺）内



本福寺



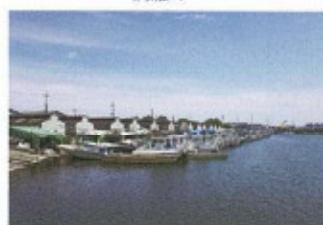
祥瑞寺



病雁の…



朝茶のむ…



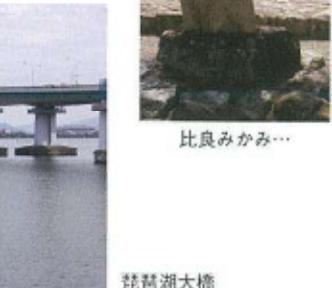
堅田漁港



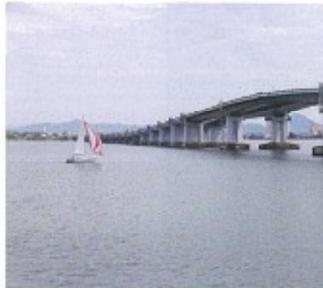
海士の屋は…



浮御堂と三上山



比良みかみ…



琵琶湖大橋

⑤ 1691（元禄4）年・1月、江戸へ下る乙州の送別

句会を行い、伊賀上野に帰ります。3月末、京の焦門去
来・凡兆の所で『嵯峨日記』『猿蓑』を編纂し、6月
9月新築された義仲寺無名庵に滞在し、10月29日江戸に
戻ります。

【三ヶ日は句を詠ます。正月四日に、乙州宅で詠んだ句】

大津絵の 筆のはじめは 何仏

句意・大津絵では正月の筆初めは、どの仏から描き始
めるのか。

句碑・大津市園城寺町33 圓満院門跡内（句碑には、
大津絵の「鬼の念仏」が彫られ、画は「松山」とあり、
大津絵師の高橋松山氏によるものです）

他に、大津市の芭蕉会館前と、月心寺内にあります。

乙州が江戸に下向の餞別句会の句

梅若菜 まりこの宿の とろ、汁

句意・江戸へ向かう旅は、梅の花や若菜の緑が美しい
頃で、鞠子の宿では名物のとろろ汁が待つていよう。

句意・十五夜の三井寺は謡曲「三井寺」で名高く、名
月の今宵、ゆかりのある三井寺の門を敲き、知人を訪
ねよう。

句碑・大津市園城寺町33 圓満院門跡内

他に、大津市の園城寺にあります。

句意・江戸へ向かう旅は、梅の花や若菜の緑が美しい
頃で、鞠子の宿では名物のとろろ汁が待つていよう。
三井寺・数多くの国宝や重要文化財があり、近江八景
「三井晚鐘」は「残したい日本の音風景百選」に、ま
た謡曲「三井寺」ゆかりの観月舞台があります。近く
には琵琶湖疏水が流れます。

【義仲寺無名庵にて】

木曾の情 雪や生ぬく 春の草

句意・木曾義仲の心意気そのままに、雪にも負けず木
曽塚辺りは、春の草が芽を伸ばしている。

【門人でもあり、生活上の援助者でもある乙州や膳所蕉
門の正秀を無名庵に迎えて】

米くる、 友を今宵の 月の客

句意・米をくれる友を客に迎えて、今宵の名月を楽し
んでいる。

【無明庵での月見で詠んだ句】

三井寺の 門た、かばや けふの月

句意・十五夜の三井寺は謡曲「三井寺」で名高く、名
月の今宵、ゆかりのある三井寺の門を敲き、知人を訪
ねよう。

句意・浮御堂の鎖を開けて、月の光を中まで入れて、
阿弥陀千体仏を輝かせよう。

句碑・大津市本堅田1-16-18 浮御堂（満月寺）内
また堅田十六夜の弁の碑は堅田十六夜公園にあります。

金時堂・干菓子「落雁」、びっくりの美味しさパイナッ
ブル大福等を食べながら、お店の御主人にお話を聞く
と、堅田の今昔を知ることができます。

【次の十六夜三句は、8月15日に無明庵で月見の会を催
し、16日は人々と舟で堅田に渡りました（江戸時代、堅

田迄は舟で1時間程でした）堅田蕉門の成秀亭で歌仙を
した様子が、俳文「堅田十六夜の弁」に書かれています】

やすやすと 出ていざよふ 月の雲

句意・今日の十六夜の月は、意外にやすやすと出た後、
雲に隠れがちでなかなか出てこない。

十六夜や 海老煎る程の 宵の闇

句意・十六夜の月が出る迄の宵闇の間に、主人達は、
酒の肴に海老を煎煮している。

鎖あけて 月さし入よ 浮み堂

句意・浮御堂の鎖を開けて、月の光を中まで入れて、
阿弥陀千体仏を輝かせよう。

句碑・大津市本堅田1-16-18 浮御堂（満月寺）内
また堅田十六夜の弁の碑は堅田十六夜公園にあります。

金時堂・干菓子「落雁」、びっくりの美味しさパイナッ
ブル大福等を食べながら、お店の御主人にお話を聞く
と、堅田の今昔を知ることができます。



大津絵「鬼の念仏」



大津絵の…



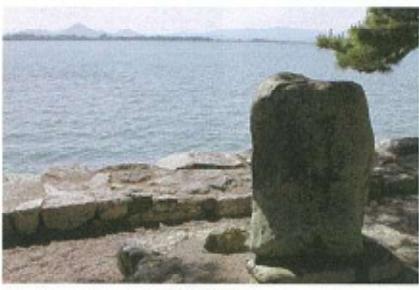
三井寺の…



圓満院



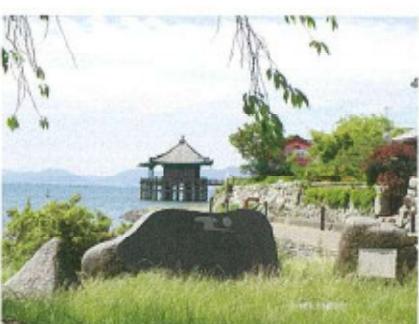
園城寺大門



鎮あけて…



浮御堂（満月寺）



十六夜の弁の碑（十六夜公園にて）

【この年は閏八月で、八月が2回あり、中秋の名月も2度ありました】

名月は ふたつ過ても 濑田の月

・句意・名月は二つ過ぎたけれども、瀬田の月は見飽きることはない。

【9月9日、乙州が酒一樽を持って訪ねて来てくれた】

草の戸や 日暮てくれし 菊の酒

・句意・重陽の節句（菊花を浮かべた酒を飲むと健康長寿になると云われる）など無縁の草庵だが、日暮れに貰った酒を、菊の酒として頂こう。

・句碑・大津市馬場 ときめき坂馬場公園横

他に、栗東市岡349の酒屋の前にあります。

【龍が岡の大津の俳人山姿（百姓莊右衛門宅）を訪問し】

・句意・野原の萩ばかり見とれず、蕎麦の花の方もよく見て、萩を羨ましがらせなさい。

・句碑・大津市竜が丘14 山の手団地入口公園（この公園辺りが、山姿宅の跡地と云われます）

【江戸に下向の折、彦根の蕉門李由の明照寺を訪ね】

・句意・阿弥陀仏の尊さに、流す涙が染めたのであろうたふとがる 涙やそめて ちる紅葉

・句意・江戸に向かう途中、大垣の蕉門千川に招かれて

折、に 伊吹みては 冬ごもり

・句意・この家の主人は、折々に伊吹山を見ながら冬籠りとは、羨ましい暮らしぶりだ。

・句碑・長浜市宮前町13-55 長濱八幡宮参道

⑥ 1694（元禄7）年 5月17日～21日迄、乙州宅、曲翠邸に泊り、京の落柿舎に向います。6月15日～7月5日まで義仲寺無名庵に滞在します。また伊賀上野に帰り、9月8日伊賀から大坂に向かいます。

【新春に書いた近江の蕉門曲翠庵の書簡に】

蓬萊に 聞ばや伊勢の 初便

・句意・蓬莱飾りを前に、気分も新たな元旦、伊勢から

の清浄で神聖な初便りを聞きたいものだ。

・句碑・長浜市港町2-5 慶雲館前庭（大きく立派な碑）

【贈所能役者で蕉門游刃亭にての納涼二句です】

よし波や 風の薰の 相拍子

・句意・琵琶湖の岸に寄せるさざ波が、吹き渡る薰風と能楽の相拍子のように、心地がいい。

・句碑・大津市島ノ関地先 大津市民会館前の湖岸なぎさ公園内



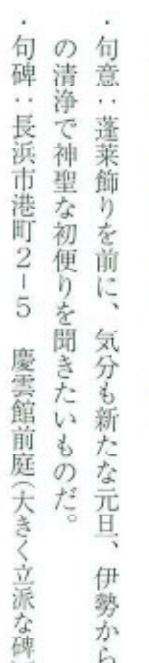
草の戸や…



蕎麦もみて…



たふとがる：



蓬萊に…



慶雲館



長濱八幡宮



蓬萊に…



折に…



木がくれて…



岩谷山仙禪寺
朝宮の茶畠



湖や あつとをおしむ 雲のみね

・句意・夕方の琵琶湖から涼風が渡ってくるが、湖上で
は昼の暑さを惜しむように、入道雲が聳え立っている。
・句碑・大津市本丸町7 膳所城跡公園内

【曲翠亭にて】

飯あふぐ か、が馳走や 夕涼

・句意・熱い炊き立てのご飯を冷ます、妻の心遣いが何
よりのご馳走と、夫は夕涼みをして待っている。

【大津の能大夫で俳人の本間主馬亭に招かれ、大夫が家
名を称した吟】

ひらひらと あぐる扇や 雲の峰

・句意・能大夫が白扇をひらひらと翻して舞う姿は、入
道雲ながらの、見事な芸である。

・句碑・大津市京町3-3-36 天孫神社前

【元禄7年6月21日、大津蕉門の木節庵にて】

秋ちかき 心の寄や 四豈半

・句意・秋が近づく気配の中、この四豈半は、集う人々
の心と心が寄りあつていていることだ。

・句碑・大津市京町3-3-36 天孫神社前

ひらひらと…



さざ波や…



湖岸なぎさ公園



膳所城跡公園



湖や…

ひらひらと…



天孫神社



義仲寺



旅に病で…

⑦1694(元禄7)年10月5日、之道宅から南久太郎御堂前の花屋仁右衛門の裏屋敷に病床を移します。10月12日、芭蕉は静かに息を引き取りました。かねがね栗津の風光に魅かれ、また滅び行く朝日将軍義仲を最期まで慕い続けた愛妾巴御前の純愛、滅び行く者の哀れに、孤高の心を寄せていた芭蕉は「栗津の義仲寺に葬つてくれ」と遺言。遺骸は、その夜、舟で淀川を廻り、翌朝に伏見に上がり、昼過ぎ大津に着き義仲寺に安置されました。乙州の妻と、大津蕉門の智月が淨衣を縫つて着せ、義仲寺直愚上人が導師となり多くの門人に見守られ、木曾義仲の隣に埋葬されました。

【大坂の酒堂宅にて】

秋深き 隣は何をする人ぞ

・句意・深まつていく秋に、静まり返った隣家は、何をして暮らす人だろう。

【10月8日、香舟を呼び病中吟(辞世句)】

旅に病で 梢は枯野を かけ廻る

・句意・旅の途中で病身となり、夢だけが、枯野を駆け廻つて行く。

・句碑・大津市馬場1-5 義仲寺内

あとがき

芭蕉は、日本各地を旅したことで知られます。当時国境には関所が有り人々を厳しく監視し、簡単に他国への移動は不可能でした。しかし芭蕉は自由に俳句の旅をしています。そんなことから、反幕府的な事柄を調査する隠密の使命を幕府から受けているのではないかと云われています。

芭蕉を学んで心に残った句があります。

「座右之銘／人の短をいふ事なけれ。己が長をいふ事なけれ」

物いへば 唇寒し 秋の風

また、「古人の跡を求めず、古人の求めたるところを求めよ」と芭蕉は教えています。5月16日は「旅の日」です。芭蕉が1689年5月16日に「奥の細道」の旅に旅立った日に因み、昭和63年に日本旅のペンクラブが提唱しました。

今回は滋賀に碑がある句を中心に、64句の近江ゆかりの句を紹介しましたが、所縁の句の碑が所縁の地にある事に感心しました。

三日月知事は、俳句を知事になつて始めたと云われます。幼い頃から見慣れた滋賀の四季折々の風景や文化を観察すると新たな発見があります。芭蕉をはじめ多くの俳人達が、惹かれて幾度も通う滋賀の地へ、歳時記を持つて素敵な滋賀を訪れる旅。皆さんも行ってみませんか。

(参考資料)

・芭蕉全句集 角川文庫

・近江の芭蕉 猪飼由利子(サンライズ出版)

・ともえ 諸田玲子(文芸春秋)

・芭蕉といふ修羅 嶽山光三郎(新潮社)

・芭蕉ハンドブック 尾形伊(三省堂)

・芭蕉と近江の門人たち 大津市歴史博物館

・俳諧の歴史と芭蕉 佐藤勝明

・松尾芭蕉と近江 山田稔(幻住庵保勝会理事)

きものお手入れ処

そめの近江

Depuis 1955®

駒込 ☎ 03 (3949) 7211
巣鴨地蔵通り ☎ 03 (5980) 5811
神田明神下 ☎ 03 (5209) 3711
江古田 ☎ 03 (5995) 5011
浜田山 ☎ 03 (3311) 1311
経堂 ☎ 03 (5426) 1011

調布 ☎ 042 (443) 1911
国立 ☎ 042 (571) 8511
浦和 ☎ 048 (832) 0811
所沢 ☎ 04 (2991) 7011
市川 ☎ 047 (329) 1711
川崎 ☎ 044 (233) 7011

横浜元町 ☎ 045 (662) 0211
市川振袖館 ☎ 047 (329) 1711
写真スタジオ ☎ 0800 (8003) 753
巣鴨地蔵通り ☎ 03 (5980) 5812
アパレルショップ
きものケア工場 ☎ 04 (2991) 7011

そめの近江 ホームページ
<http://www.some-oumi.com>

そめの近江

検索

虹色の旅へ。

RAINBOW TRIP AROUND SHIGA BIWAKO

滋賀・びわ湖

滋賀県観光
キャンペーン

2018
7/15 日 ➡ 2018
12/24 月



Rainbow Trip
around Shiga Biwako



◀ 詳しくは
WEBサイトで!!
[https://www.biwako-visitors.jp/
niji-shiga](https://www.biwako-visitors.jp/niji-shiga)



滋賀県観光情報 WEBサイト

www.biwako-visitors.jp

びわこ 滋賀観光

検索

ビワイチ facebookページ

www.facebook.com/biwachi.shiga

びわこめぐりの旅

検索

公益社団法人 びわこビジターズビューロー

TEL 077-511-1530 FAX 077-526-4393
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしあわせ21 6F

賃アパート・マンション・テナント貸



住まいのトータルコーディネーター
株式会社**大生産業**

本 社 〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原1979番地 TEL.077-586-3456

瀬田支店 〒520-2153 滋賀県大津市一里山2丁目14番18号 TEL.077-543-3456

【グループ会社】

株式会社**大生産業** 大津 〒520-0802 滋賀県大津市馬場2丁目6番21号 TEL.077-510-3456
株式会社**大生産業** 守山 〒524-0041 滋賀県守山市勝部1丁目16番27号 TEL.077-581-3456
株式会社**大生産業** 京都 〒600-8217 京都市下京区七条通烏丸西入東境町172番地 TEL.075-371-3456

水、土、風、緑、
そして人。
湖国が育む、
味と文化



近江牛の歴史は、文明開化のころに始まります。わたしたち「毛利志満」はその当時から、近江牛とともに歩み続けてきました。すぐれた風土と人によつて育まれる最上の近江牛からは、わたしたちは、これからも湖国の味と文化を築いていきます。

近江牛
久も利志満
OMI BEEF MORISHIMA



本 店：滋賀県近江八幡市東川町866-1 TEL.0748-37-4325
長浜店：滋賀県長浜市元浜町 11-27 TEL.0749-62-6115

DESIGN

ADVERTISEMENT

SALES PROMOTION

SYMBOL MARK

LOGOTYPE

PACKAGE

POP

LABEL

BUSINESS CARD

STATIONERY

PRINTING

POSTER

CATALOGUE

PAMPHLET

BOOKLET

PUBLISHING

BOOK

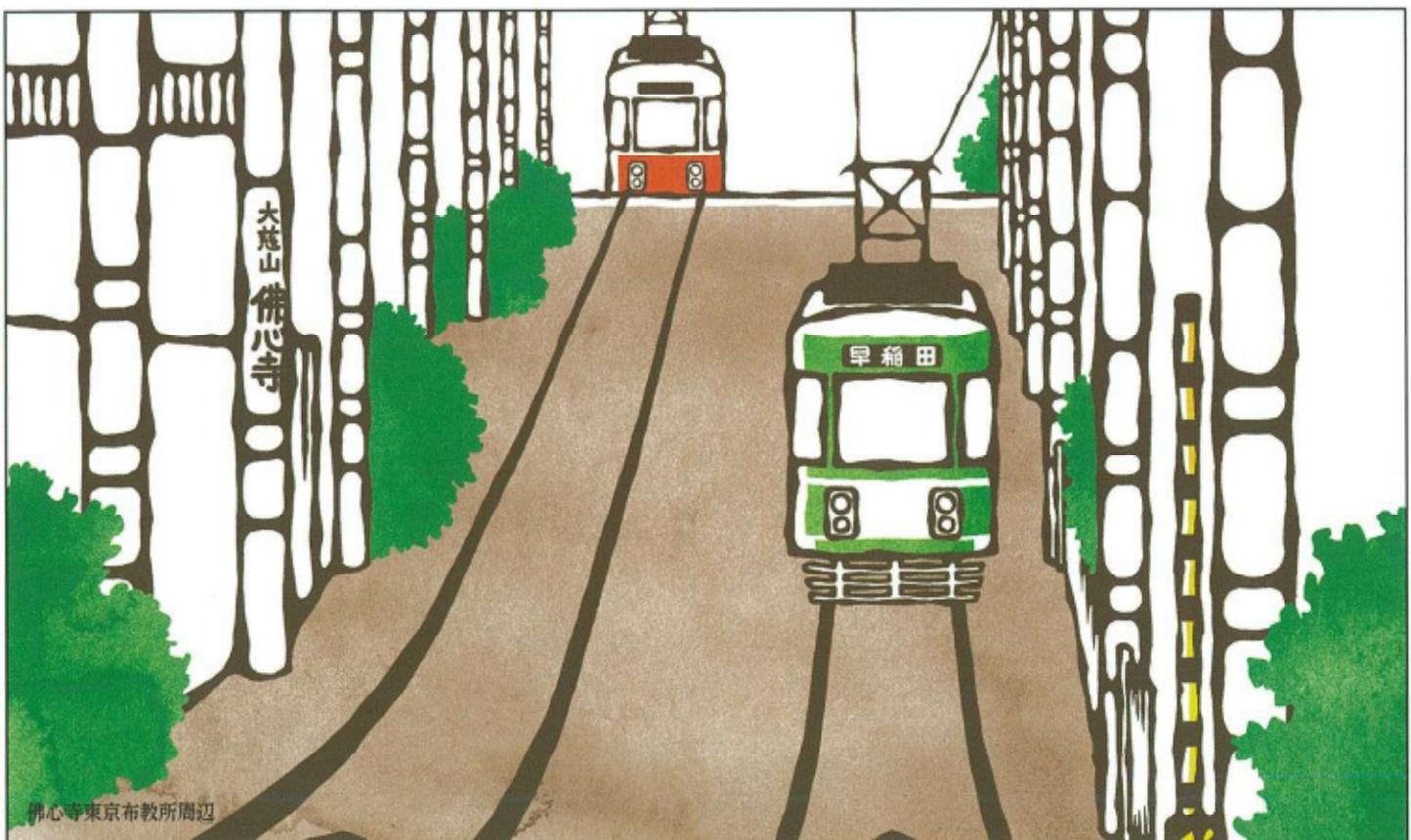
HOUSE ORGAN

株式会社 洋光社

〒162-0801 東京都新宿区山吹町356

TEL03-3269-0211(代表)

FAX03-3269-0227



佛心寺



佛心寺(滋賀・東京)

03-5985-6011

豊島区雑司が谷3-7-1-1F

滋賀県内の主な事業用地(ご紹介可能用地及び計画中の用地)

湖南地区

①守山市
木浜県有地 計画中 所在地:守山市木浜町地先 面積:8.7ha
横江地区 所在地:守山市横江町地先 開発可能面積:6.4ha(農地)

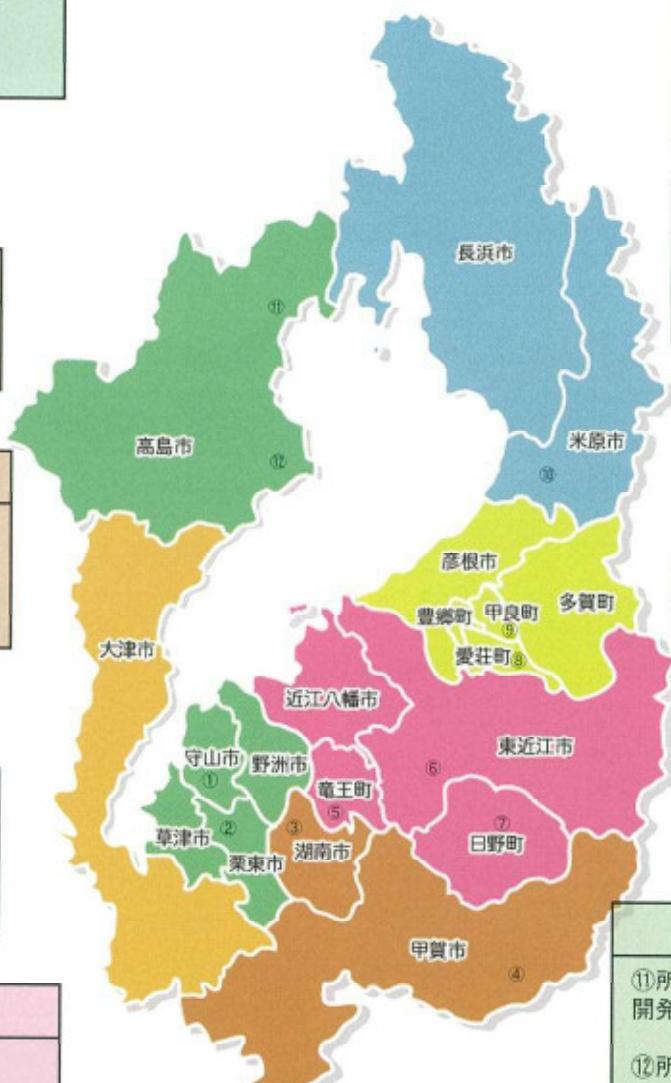
②栗東市
栗東市上鈎・下鈎・手原・蜂屋地区事業用地 所在地:栗東市上鈎・下鈎・手原・蜂屋 分譲面積:1.1ha[7区画]

湖東地区

③愛荘町
所在地:愛荘町愛知川地先 他 事業用地(4カ所):1.6ha~6.6ha

甲賀地区

④甲賀市
(仮称)甲賀北地区工業団地 所在地:甲賀市甲賀町鳥居野 開発面積:15.5ha (分譲可能面積約8.9ha)



湖北地区

⑤守山市
所在地:守山市岡屋地先 分譲面積:30.9ha[7区画]

湖西地区

⑥東近江市
蒲生中部工業団地 所在地:東近江市大塚町 地先 分譲面積:5.5ha[1区画]

⑦日野町
鳥居平工業団地 所在地:日野町鳥居平 地先 分譲面積:7.9ha[2区画]

滋賀県の産業用地、その他企業立地に関するお問い合わせは

滋賀県企業誘致推進室 まで

滋賀企業立地

検索

TEL 077(528)3792 / FAX 077(528)4876
E-mail fd00050@pref.shiga.lg.jp



JAL国内線 ずっとWi-Fi無料

宣言!



JAL国内線のWi-Fiは、次の進化へ。

※JAL運航およびJTA運航の一部機材のみの設定となります。※当サービスは通信衛星を介して
提供されるため、飛行状況や天候によっては接続が不安定になることがあります。

www.jal.co.jp



明日の空へ、日本の翼